

# 「豊島区産業振興指針（案）」のパブリックコメント実施結果

## 1. 意見募集の概要

- ①実施期間 令和5年12月11日～令和6年1月9日
- ②周知方法 広報としま令和5年12月1日号掲載、豊島区ホームページ掲載
- ③閲覧場所 生活産業課、行政情報コーナー、区民事務所、図書館、区民ひろば、区ホームページ
- ④受付方法 Eメール1件 持参1件 合計2件
- ⑤意見件数 14件  
※複数のご意見をお寄せいただいたものがあるため、受付件数と意見件数は一致しません。

## 2. ご意見の概要と区の考え方

No.	分野	ご意見の概要	件数	区の考え方
1	産業分析	p. 18-19 起業希望者の分類表 ステージや男女別に支援ニーズを把握することも大切だと思いますが、分野ごとの支援ニーズに関するグラフも追加していただくとより、豊島区の支援方針が明確になると思います。	1	「豊島区産業振興指針改定に伴う調査報告書-起業家編-（令和5年3月）」では、業種別の起業支援サービスニーズの調査結果を掲載しておりますが、半数以上の業種において「資金調達・融資あつせんの相談」が1位であり差異が生じませんでした。一方で、起業ステージや男女別のクロス集計では支援ニーズが明らかに異なっていたため、本指針には優先的に掲載しています。
2	産業分析	p. 23-24 働く人材の多様性 女性、高齢者及び外国人に注目されている点はよいと思います。しかし、多様性を重視する上では、これらの属性に留まらず、障害者の雇用も重要です。働く人材の多様性として、区内事業者の障害者雇用割合のデータも掲載し、区内事業者の雇用実態を明らかにしてはいかがでしょうか。	1	現在、東京労働局で公開しているデータは、都内事業者の障害者雇用割合のみとなっております。市区町村別の状況は不明のため、本指針には掲載できません。今後、具体的な施策を展開する際には、ご指摘の内容を念頭に取組を進めていきます。

No.	分野	ご意見の概要	件数	区の考え方
3	記述	p. 30-31 に、現状と課題の整理 現状と課題があまり対応していない、または、課題の欄に、課題を解決するための手段（施策）が書かれていると思われるものが散見されます。課題を解決するための施策は p. 35 以降の第 4 章に書かれていると思いますので、p. 30-31 の「課題」には、何を解決又は改善するために p. 35 以降の施策を実行するのか、を中心に記載頂くことで、全体の流れが分かりやすくなるように思います。	1	ご指摘を踏まえ、表現方法を修正します。
4	記述	第 3 章 豊島区の現状と課題が、分野別にまとまっており分かりやすいと感じました。特に、「6 豊島区の消費生活」は、SDGs ゴール達成を目指す豊島区にとって必要な視点だと思います。	1	色々な方に届くよう、分析を重視し分野別にまとめる工夫をいたしました。ご指摘のとおり、SDGs 未来都市を掲げる豊島区として、SDGs の視点を重視し、「6 豊島区の消費生活」を新たに追加しています。
5	記述	第 4 章 指針における方向性と取組では、将来像と目指す姿の記述を読むと 10 年後の豊島区のイメージが湧いてきました。我々事業者がもっともっと輝けるような豊島区を望みます。	1	改定案では、将来像に「多彩な人がつながり 発展し続ける産業都市 としま」を掲げ、誰もが活躍できる活気あふれるまちを実現してまいります。
6	中小企業対策	p. 19 豊島区の中小企業支援制度の認知度 認知不足の改善には、東京商工会議所・法人会・中小企業家同友会等、区内産業団体を通じた周知が有効だと思います。区内団体と一層の連携を図って頂くことを希望します。	1	ご指摘のとおり、区が行う中小企業支援制度について区内事業者に迅速に周知するためには、区内産業団体のご協力が必要不可欠です。「第 5 章 指針の推進」にも記載のとおり、今後もより一層、連携を強化していきます。

No.	分野	ご意見の概要	件数	区の考え方
7	中小企業対策	<p>現在の「としまスタートアップオフィス」は、入居のタイミングが1年に1回（ウェブサイトでの案内は例年7月頃）と、いつ起業するか不動産賃借を開始するか計画が立ちにくい起業家の目線では使いにくいように思います。</p> <p>行政の起業促進策としては、資金力に乏しい起業家に対し空きがあれば随時入居できるようにすることで支援し、入居した事業者に資金力がついてきたら民間のレンタルオフィスに誘導するなどして、民間のシェアオフィス・レンタルオフィスとの棲み分けを図りつつ、起業促進の成果を上げていくべきと考えます。</p>	1	としまスタートアップオフィスは、起業家のみなさまにご好評いただいております。一度入居した方の途中退去が極めて少ない状況にあるため、現状では年に1回の募集となっています。募集タイミングについては、今後の利用ニーズや入退去状況を踏まえ、検討いたします。
8	商店街の活性化	<p>商店会が作成するホームページやマップなどの販売促進についてですが、利用者の目線で見ると、細かく分かれた商店会単位で情報があるよりも、駅や観光拠点の周りにどんなお店があるのか、といった情報が一覧できる方が使いやすいように思います。是非、より広域での情報発信を推進頂けますようお願い致します。</p>	1	商店会が作成するホームページやマップについては、既に複数商店会が合同で、駅や観光拠点の活性化目的で作成している事例があります。来街者が利用しやすい利用者の目線に立った情報発信について、引き続き推進していきます。
9	人材の育成	<p>「次世代の育成」に記載されている取組に賛同します。区内に複数の大学のキャンパスを有する豊島区としての強みを活かせる方策であり、区内事業者の人材不足という課題の解決にもつながる取り組みでもあることから、積極的に推進して下さい。</p>	1	事業者の人材不足が危機感を増す中、若い人材の区内産業への理解向上を図るためにも、区内大学などの教育機関と事業者をつなげる仕組みづくりを、積極的に推進していきます。
10	人材の育成	<p>区内のクリエイティブ産業を伸ばし、稼げる街に変えていくためには、区内の大学や専門学校と連携し、クリエイター層のみならずデータマーケティングやマネジメント、まち作りができる人材を増やしていくことが有用です。</p>	1	豊島区では、映像制作による広報周知や区主催イベントへの協力など、多方面において区内の大学や専門学校と連携した取組を行っています。今後も次世代を担う若い世代の育成に取り組んでいきます。

No.	分野	ご意見の概要	件数	区の考え方
11	人材の育成	大学との「地域連携プラットフォーム」を通じて、現在、区内で働く・経営を行っている社会人の学び直し（リスキリング）の場としても区内の大学等との連携を積極的に進めていただきたいと考えます。特に、本指針（案）の p.35 で「指針1」として掲げられている「中小企業の経営力強化と起業の促進」の観点での社会人教育は重要です。	1	豊島区では、区内8大学との包括協定により、人づくり・活動づくり・地域づくりのための総合的な学びの場「としまコミュニティ大学」を展開しています。今後は、産業の活性化の観点からの社会人教育についても研究を進めていきます。
12	事業承継	事業承継に関する情報発信強化、個店の魅力を存続できるようなマッチング支援は、非常によい取り組みだと思います。積極的に推進頂けますようお願い致します。	1	経営者の高齢化に伴い、事業承継への支援は重要性を増しています。まずは、関係機関が実施する各種支援策について必要な方に速やかにお届けできるよう、情報発信を強化していきます。
13	職場環境の充実	豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度に大賛成です。豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定の取得を、区内各産業団体に周知PRすると共に、豊島区のキャラクター「としまななまる」を使用した認定ロゴマークを作成してはいかがでしょうか。	1	豊島区では、「仕事と育児・介護の両立」や「働きやすい職場づくり」などのワーク・ライフ・バランスを推進するため、認定制度を設けており、区ホームページやとしまビジサポ通信を用いて周知しています。認定ロゴマークについては、今後、認定制度の見直しを行う際に、いただいたご意見も参考に検討してまいります。
14	観光振興	クリエイティブな活動を産業として発展させ、としまのブランド力をより高めるためには、例えばトキワ荘マンガミュージアムの近隣に空き店舗や空き家を活用してクリエイターを集めるなど、コンテンツの創作者を誘致して創作活動をより活性化する取り組みも、より積極的に行っていく必要があると思います。 としまの地域ブランド磨き上げにおいては、このような観点も是非取り入れて頂きますようお願い致します。	1	ご指摘の取組の一例として、トキワ荘界隈の紫雲荘にてマンガ家志望者の活動を支援する「紫雲荘活用プロジェクト」を実施しています。今後もこのような創作者を誘致し創作活動を活性化する取組を推進していきます。